



▲それぞれの活動を行う化学班の班員

今回の文化部キマグレでは、SS部化学班を紹介する。

SS部化学班は1年生3人、2年生5人の合計8人で、男子7人、女子1人で活動している。活動日は主に毎週火曜日、水曜日、木曜日、授業が6限の日の放課後と、土曜日、日曜日だ。そのうち6限の日の放課後、土曜日、日曜日には実験を行っているそうだ。部員たちは学年毎にそれぞれテーマを決めて実験をしており、現在は2年生は金属樹をテーマに実験を行っており、1年生はテーマを決めこれから実験を開始してゆく段階だそうだ。



▶主水を用いずに金を溶かしたそうだ。

解き明かしてゆくのがとても楽しい。大会での発表もまた楽しいことの「一つだ」と笑顔で話した。大変だと思うところについては「実験をするなかで多くなった写真やデータを発表用にまとめるのが大変だ。だから大会前には2、3時間くらいかかることもある。でも、それ以外に大変なことではない。楽しくやっている」と微笑んだ。化学班での活動が勉強の役に立つこともあるそうで「実験は部活のおかげで慣れているので、授業の実験では手際良くできる。また部活で行った実験テーマに係ることが授業で出てきたときは『これ知ってる!』と、なつてより理解が進むので、部活は役に立っていると思う」と笑顔を見せた。また今後の目標を「1学年上の先輩方は近畿大会や全国大会に出場し

た。自分たちも先輩方のように出場できるよう、発表する力やデータ処理技術を向上させていきたいと思う。研究を通して自分たちの力をもっと向上させていけるようにしたい」と熱い口調で明かした。最後に深尾君は本校生に向けて「化学班は固いイメージがあると思うが、経験がなくとも色々な活動を通して徐々に知識や実験の手順を学んでいくことができる。固い部活というイメージを捨てて、興味があればぜひ見に来てほしい。現在は人数が足りなくて複雑な実験をできないので、ぜひ見学して入部してほしい。女子の部員が1人しかいないので、特に女子に来てほしいと思う。運動部などの兼部でもうれしい」とメッセージを送った。



▲笑顔で話す班長の深尾君



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号